

# 山神運輸工業株式会社



2015年度

## 環境活動レポート

(2015年7月から2016年6月の活動結果)



平成27年排出ガス基準(ポスト新長期規制適合車)



発行日付：2016年9月20日 NO9号



# 環境方針

## <基本理念>

山神運輸工業株式会社は『物流業及び機械器具設置業』における事業活動において、全従業員が地球環境の保全が大切であること、環境保全は自らが行動を起こすことを認識し、下記の行動指針に基づき全員で環境管理活動を推進します。

## <行動指針>

1. 当社の事業活動から生じる環境負荷の低減にむけて次の項目を環境重点管理テーマとして取り組みます。

- 1) 輸送燃費改善による二酸化炭素排出量の削減
- 2) 電気使用量の削減
- 3) 廃棄物排出量の削減
- 4) 節水意識の活動による水使用量の削減
- 5) グリーン購入の推進

2. 環境マネジメントを構築し、継続的改善と汚染の予防を図ります。
3. 環境関連法規、規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 環境目的及び目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境負荷の低減を図ります。
5. 環境方針を文書化し、全社員及び協力会社に周知します。
6. 環境活動内容を「環境活動レポート」にして社会一般に開示します。

制定日：2008年12月1日

改訂日：2011年 7月1日



山神運輸工業株式会社

代表取締役社長

山野英二

## 1. 登録事業者の概要

弊社は、これまでお客様のニーズに応じて時代の変化を先取りする物流を目指して取り組んでまいりました。物流のニーズは時代と共に変化しそのうねりの中で、いち早く物流トータルシステムを導入しコンピュータによる全品管理また、全製品の統一管理などシステム的に行い、原材料から消費者までの物流を多面的に捉え、サードパーティーロジスティクス化によって陸上輸送、倉庫業務を一元管理することによって、お客様の信頼を得るよう努めています。また弊社は、建設業の機械器具設置工事業の免許を取得し、半導体業界各お客様の新設工場ラインの据付工事等シェアのトップを走っております。引越業務も全国的にサービスを提供しており、品質管理、納期管理、安全の向上を経営基本とし推進してまいりました。更にこれからの事業継続には環境への配慮が経営の重要な課題の一つとして捉え、[エコアクション21]のマネジメントシステムを機軸とした環境経営を推進することで社会貢献していく所存です。今後ともお客様のご要望に適した物流業務の充実を図り、皆様のご要望に十分お応えできるよう、社員一同努力してまいります。

- 事業者名及び代表者名

山神運輸工業株式会社 代表取締役社長 山野英二

- 本社所在地 (取り組みの対象組織)

〒220-0061神奈川県横浜市西区久保町5-20 TEL:045-231-0901(代)

- 横浜支店

〒236-0003神奈川県横浜市金沢区幸浦2-8-1

- 藤沢支店

〒251-8551神奈川県藤沢市宮前100-1

- 秦野支店

〒257-0015神奈川県秦野市平沢273

- 船橋支店

〒272-0002千葉県市川市二俣新町17-17

- 中部支店

〒441-3114愛知県豊橋市三弥町字元屋敷150

- 神戸支店

〒674-0065兵庫県明石市大久保町西島438-1



- 事業の内容 (取り組みの対象活動)

一般貨物自動車運送事業、第一種利用運送事業、倉庫業、建設業(機械器具設置工事業・管工事業)

- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

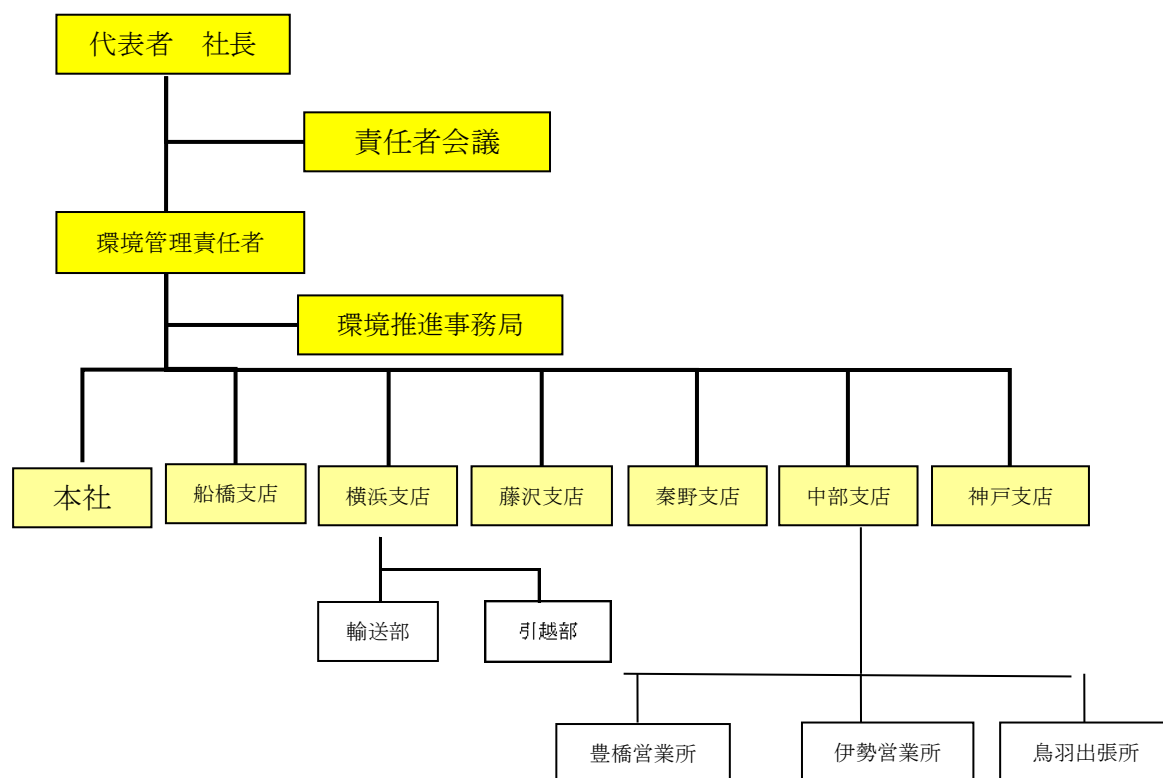
環境管理責任者:常務取締役 浅賀 哲 (連絡先)事務局:登地 仁

TEL:045-231-0901 FAX:045-243-3883

- 事業の規模 (直近3ヵ年)

	2013年度	2014年度	2015年度
売上	1,962百万円	1,975百万円	1,931百万円
従業員数	94名	94名	94名
貨物自動車保有台数	46台	46台	46台
床面積	778㎡	778㎡	778㎡

## 2. 山神運輸工業(株)の環境組織図



## 3. 主な環境負荷の実績

環境目標項目	単位	2013	2014	2015
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,624,154	1,659,865	1,530,930
電気使用量	kwh	99,182	104,574	104,042
ガソリン購入量	L	43,222	39,198	34,839
軽油購入量	L	560,533	576,813	531,609
グリーン購入 低公害車の導入	台	6	2	2
産業廃棄物総排出量	KG	53,500	49,720	27,040
一般廃棄物総排出量削減	KG	2,089	1,726	1,713
総排水量	m <sup>3</sup>	1,029	1,226	1,101
走行距離当り二酸化炭素排出量(軽油)	Kg-CO <sub>2</sub> /km	0.67	0.65	0.64
リッター当り走行距離(軽油)	km/ℓ	3.89	3.98	4.08

二酸化炭素排出係数は 東京電力管内、中部電力管内、関西電力管内いずれも、東京電力の0.525を使用した。

#### 4. 環境目標の中期計画(3年)

環境目標項目	単位	基準値	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,659,865	1,607,000	1,590,000	1,574,000
電気使用量	kwh	104,571	99,000	99,000	99,000
軽油使用量	ℓ	576,813	540,000	540,000	540,000
ガソリン使用量	ℓ	39,198	44,400	44,200	44,000
一般廃棄物総排出量	Kg	1,726	2,100	2,100	2,100
産業廃棄物総排出量	Kg	49,720	53,500	53,500	53,500
総排水量	m <sup>3</sup>	1,226	1,030	1,030	1,030
グリーン購入(低燃費車)	台	2台	2台	2台	2台
無事故の達成	件	0	0	0	0
決算業務の早期化	日	18日	18日	18日	18日

※化学物質削減の取り組みは、当社の業務に化学物質を取り扱う業務が無いため取り上げない

※基準値は2015年実績値とした

#### 5. 今年度(2015年度)環境目標・計画と実績

環境目標項目	単位		2015年度	
			年間	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	目標	1,643,000	○
		実績	1,530,930	
電気使用量	Kwh	目標	116,000	○
		実績	104,042	
軽油使用量	ℓ	目標	534,000	○
		実績	531,609	
ガソリン使用料	ℓ	目標	44,500	○
		実績	34,839	
一般廃棄物総排出量	Kg	目標	2,200	○
		実績	1,713	
産業廃棄物総排出量	Kg	目標	49,720	○
		実績	27,040	
節水	m <sup>3</sup>	目標	1,450	○
		実績	1,101	
低公害車導入	台	目標	1台	○
		実績	2台	
無事故の達成	件	目標	0	○
		実績	0	
決算業務の早期化	日	目標	18日	○
		実績	18日	

2015年度(2015年7月～2016年6月)

判定基準: ○→達成 △→概ね80%以上達成 ×→未達

## 6. 主な環境活動内容と取組み結果の評価及び次年度の取組み

活動内容	判定	結果の評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量削減 1. 空調設定温度の徹底 2. エコドライブの推進	○	1. 電力使用量削減: 節電意識は かなり定着してきた。 2. 軽油、ガソリン使用量削減: エ コドライブの意識も浸透しつつあ り、概ね順調に推移している。 3. 輸送効率は上がっている	1. 電力: 今後はLED照明への切 り替えを検討し、更なる節電に取り 組み、電力不足に対応する。 2. 軽油: 車両の大きさ別の管理を 継続し、判定の精度アップに取り 組む。 3. ガソリン: 低燃費車両への代替 を推進する。 4. 輸送システム更新時にシステム を活用した活動内容にしていく
廃棄物排出量削減 1. 分別回収の徹底 2. リサイクルの徹底	○	全般的に分別が定着し、リサイク ルの徹底も図られてきた。特に産 業廃棄物は、業務の増減がある 中で、年間目標をクリアできた。	各店の事情に合わせた工夫をし、 更なる排出量の削減に取り組む。
総排水量削減 1. 節水意識の向上	○	節水意識も定着し、順調に推移し ている。	水を主体とする業務は無く安定し ているが、気を抜かずに削減に取り 組む。
無事故の達成	○	無事故達成	安全活動を重点的に取り組む
走行距離当り二酸化炭 素排出量削減(軽油)	○	小さいことの積み重ねを実践し、 目標達成できた。	数値集計の精度を上げるための 工夫に取り組む。

判定基準: ○→達成 △→概ね80%以上達成 ×→未達



### □環境管理責任者のコメント

輸送燃費の向上を第一に活動してきました。エコドライブもからり浸透してきたと思います。

安全第一で、来期はそちらに重点を移して取り組みます。

## 7. 遵守評価の結果

事業活動に伴う環境関連法令の遵守状況は下記の通りです。

評価：○→確認済み □→評価したが課題がある

適用法令等	遵守すべき内容	実施確認	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大気汚染防止法</li> <li>・ 東京都環境確保条例</li> <li>・ 神奈川県環境保全条例</li> <li>・ 横浜市 //</li> <li>・ 千葉県 //</li> <li>・ 名古屋市 //</li> <li>・ 大阪府 //</li> <li>・ 兵庫県 //</li> </ul>	自動車の排出ガスの抑制(努力義務)	エコドライブの徹底を朝礼で確認した。	○
・自動車NOx・PM法	特定地域で30台以上車両を保有している場合、排出抑制計画を知事に提出し実施する	2015年6月に国交省神奈川県支局に提出した書類で確認。	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の負担及び廃車時に登録業者に引渡す	引き取り業者にリサイクル料金を支払い引き渡した。	○
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別廃棄の徹底</li> <li>・ 処理・処分を外部委託する場合 契約</li> <li>・ マニフェスト伝票の発行管理及び返却期限管理(A票保管、B1票90日、D2票90日、E票180日)</li> <li>・ 産業廃棄物処理交付票のまとめを知事に報告(6月30日)</li> <li>・ 廃棄物保管場所の表示</li> </ul>	廃棄物管理台帳で確認した。(横浜支店)	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定数量の1/5以上は届出</li> <li>・ 危険物保管管理(火気厳禁)</li> </ul>	石油保管量が規定以下であることを確認。	○
フロン排出抑制法	該当する空調機器の確認	該当する空調機器がないことを確認	○

上記の通り、当社の事業に関わる環境関連法令は一覧表に基づき全て確認・評価を実施済みです。

また、環境関連法規の違反は、ありませんでした。省、関係当局よりの違反等の指摘は過去

3年間ありません。また訴訟もありません。

## 8. 全体評価と見直しの結果

環境活動に関する経営者のレビューを実施いたしました。レビュー結果の必要性等について下表にまとめました。

レビュー実施日	2016年6月21日	
レビュー者	代表者:代表取締役社長 山野 英二	
レビューの結果	環境方針	必要：(なし) 昨年度、2009年度版ガイドラインの要求に沿って変更済
	環境目標	必要：(なし) 昨年度、2009年度版ガイドラインの要求に沿って変更済
	環境活動計画	必要：(なし) 変更は必要としないが各店に目標設定段階から関与させるようにす
	代表者のコメント	全社的に環境活動が定着したと感じている。又結果についてもおおむね順調に推移している。来期は安全対策を重点的に行うよう指示した。

横浜支店 緊急時訓練実施 2016年6月27日実施



消火器の使用方法の確認



油吸着マットの使用訓練



■環境活動レポートに関する問い合わせ先  
山神運輸工業株式会社 総務部  
〒220-0061 神奈川県横浜市西区久保町5番20号  
TEL:045-231-0901 FAX:045-243-3883  
次回環境活動レポート発行予定:2017年9月 第10号



認証・登録番号0003909